

2016年8月16日

加盟団体代表者のみなさまへ

日本勤労者山岳連盟  
理事長 浦添 嘉徳

## 第16回全国登山研究集会への「活動レポート」のお願い

日頃登山運動でのご尽力に敬意を表します。

さてさっそくですが、過日各地方連盟発送文書や「ろうさんニュース」などでお知らせしていますが、本年11月5～6日東京において、全国登山研究集会を下記のとおり、16年ぶりに開催することになりました。

つきましては、貴会・クラブでの活動において成功事例や特徴的な活動を、会員拡大の経験（登山教室や自治体のニュース活用など） 山行管理の体制と緊急時の対応（メーリングリストの活用など） 新たな入会者（若手）に対し山行などをどのように働きかけているか 会報発行の工夫と年発行回数（発行体制など） ホームページの活用 登山の基金や歴史などの教育 会の運営と体制で工夫・努力していること（月例会の開催数、役員を選出など）などのテーマで、さまざまな活動や市民の登山要求に応じて活動実践している経験をレポートにまとめてご報告いただきたいと思います。これを、全国に普及して、次世代に引き継ぎ、さらに発展できる登山を、みんなで築き上げるために、実践報告をお願いするものです。

寄せられたレポートのなかから、全国登山研究集会で発表していただく方々を選出することにします。発表者の会場までの交通費は全国連盟で負担します。

なお、報告の期限は9月30日(金)までとします。

記

- 第16回全国登山研究集会
- 期 日 2016年11月5日(土)13:00～6日(日)9:00～12:00まで
- 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター 電話 03-3469-2525  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

参加対象 登山会員および全国の登山者

報告書の書式と枚数は下記のようにお願いします。

ワード文書、ページ設定：用紙A4、文字・行数 40、余白・上下左右とも25mm、  
フォント設定：日本語用のフォント MS明朝、英数字用のフォント、  
文字サイズ12ポイント、スタイル標準、  
文書1枚、写真や図表がある場合は追加1枚  
以上をパソコンメールに添付でお送りください。

問い合わせ先 全国連盟事務局 川嶋 TEL 03-3260-6331  
レポート送付先 E-mail [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp) FAX 03-3235-4324

## 第 16 回全国登山研究集会の概要

テーマ 日本の登山文化・技術を次世代に継承発展させよう！  
日本勤労者山岳連盟の歴史から学んで

### 目 的

このたび、次のような目的を掲げ全国登山研究集会を開催することとした。この集会では、山を愛する心と安全に登るための技術を次の世代に継承すること、会員を含める国民の多様な登山要求に応えて、登山文化を豊かに育むこと、労山の歴史と経験をふまえて、強固な会・クラブに発展させていくこと- などについて、地方連盟や会・クラブの経験交流を行う。テーマごとに分科会を設け、参加者が自由に発言できる場にする。

11月6日(日)に予定している分科会は以下のとおりであり、ここで報告していただく場合があります。

#### 山行管理と登山技術・遭難対策の実践と交流

楽しく活発に、安全に登り続けられる登山活動をめざして  
山岳会・クラブの運営と組織強化、会報の発行体制と「登山時報」の活用など、

新入会員を増やし、会運営の活発化をめざして  
会員拡大のHPの活用や未組織登山者を対象にした登山学校の開校、

#### 若い世代の登山者交流

なお、山行管理と登山技術・遭難対策の実践と交流 若い世代の登山者交流の分科会用レポートは、遭難対策部と青年学生委員会がアンケート形式のものを作っていますので同封します。

こちらは会の山行管理者や遭難対策担当者と40歳ぐらいまでの若手会員がいれば、渡してレポートの提出を依頼してください。

できるだけメール添付のデータ(ワード文書)で送って欲しいのでレポートを送っていただける方は [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp) まで、メールで「レポート募集用紙(遭難対策部 or 青年学生委員会)希望」と書いて送信してください。返信にレポート募集のワード文書を添付して送りますので、こちらに記載してお送りください。